

unicef

ユニセフと地球の子どもたち

http://www.unicef.or.jp

People's Republic of Bangladesh

れんが運びでつかれる毎日
職業訓練で培われる自信と希望

Bangladesh は世界の中でも、くらしがとてもきびしい国のひとつなんだ。たくさんの子どもが家計をささえるために働いている。きつくて危険な仕事を長い時間させられると、学校に行けないし、心や体の成長にもよくない。職業訓練を受けた男の子が、自信をつけて、希望にあふれる気持ちで話してくれるよ。



世界のすべての子どもは「権利」をもち、「子どもの権利条約」に守られています。

かされたり、そのために教育を受けられなくなったり、心や子どもの権利条約

す。「搾取」というのは「しほり取る」という意味です。マスードくんは、ユニセフの支援を受け、働

ぼくはマスード、十一歳。両親と弟ふたりの五人家族だよ。ぼくが小さいとき、お父さんがもつと収入のいい仕事をさがすために、みんなでないかの村から町に出てきたんだ。

いま、住んでいるところはスラムといわれるところだよ。お父さんは思うような仕事が見つからなくて、工事現場で働いてるんだ。でも、いつでも仕事があるわけではないから、ぼくもれんが運びの仕事をしてる。一日れんがを運ぶ



学校の人、両親を説得

両親はよく思っている。学校は、いなかだったみたいだけど、一度行ってみることにしたんだ。ユニセフが支援しているその学校は、駅のすぐとなりについて、汽車が発車する

読み書き計算に技術教える学校 楽しく学んで看板書きをめざす



看板を書く練習をする子どもたち ©日本ユニセフ協会

た。だって、ぼくはあまり年のかわらない子が、いろいろな技術をおぼえて、少し仕事ができるようになってるんだもの。



学校の人が両親を説得してくれて、ぼくはこの学校に通うことができるようになった。

入学するとき、両親は学校に「親の都合で学校を途中でやめさせません。子どもをきちんと通わせ

掲載は一週おき。次は七月十四日の予定です

ユニセフと
いっしょに
さいたま市
常盤北小学校
わたりっこです。わたしたちは、六年の

わたしたちは楽しいことをして、いたいたお金で、きれいな水が飲めない人や、学校に行けない子どもが助かると知って、すごいと思いました。フリーマーケットとユニセフ募



子どもは、五

さることや、子どもであることが都合のよい場合もありま

家族の生活をささえるため 厳しい環境で2億5千万人

ユニセフは子どもを守り、働

は、子どもがなぜ仕事